

## 平成26年度第2回江別市立病院経営健全化評価委員会(平成27年3月2日)の概要

平成26年度の診療収益の状況、医師数の状況及び平成27年度予算案について事務局から説明を行いました。

平成26年度の診療収益は目標値に届かない月が多く、依然として厳しい状況にあることから、残り少ない期間の中で単年度資金収支の黒字化を達成できるよう、努力を継続していただきたいとの意見がありました。

医師数については、来年度には総合内科医が減少する予定であることから、診療体制に影響が出ないように配慮した上で、医師確保に向けて継続して努力するよう助言をいただきました。

平成27年度予算案では、予算の目標値が高いことから、もう少し現実的に達成が見込める予算設定を検討するよう助言をいただきました。

また、不良債務解消という大きな目標があることから、それに向かって職員がアクションを起こす必要があることを認識するようとの意見がありました。

電子カルテが2月から稼動したことから、今後は様々なデータを取ることができ、院内のニーズに応えることができることになるので、現場の意見を吸い上げて電子カルテをより良いものにしていくよう意見をいただきました。

最後に、今後は国の地域医療構想のもとで、各病院における役割を決め、機能分化をはかっていくことになり、それに基づき新公立病院改革プランを策定することから、今後の病院の目指す方向をしっかりと検討するよう助言をいただきました。